

嶺南快速鉄道基金の活用に関する県と嶺南 6 市町の合意事項

令和 2 年 11 月 25 日

福井県、敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町は、嶺南広域行政組合管理者会において、次のとおり合意した。

1 基本的な方針

「嶺南鉄道整備促進基金活用の基本的な方針」としては次のとおり。

- 1 北陸新幹線小浜・京都ルート of 決定を受け、北陸新幹線敦賀・小浜開業に向けた嶺南地域の公共交通の充実や地域の移動手段としての利便性向上策に活用する。
- 2 県および嶺南市町の基金のそれぞれの総額は、現在高を維持する。
(減額調整はしない。)
- 3 対象事業は、小浜線をはじめ地域公共交通の充実等に資する事業とする。当面は嶺南地域公共交通網形成計画に掲げられた事業など敦賀開業に向けた対策 (R 2 ~ 6) に活用することとし、長期的には小浜開業も視野 (R 7 ~) に活用する。
- 4 嶺南快速鉄道基金の充当については、県と嶺南市町の合意のもと、活用候補事業リストを作成したうえで、各事業の実施内容や効果を精査し予算化を行う。
なお、活用候補事業リストは必要に応じて見直すものとする。
- 5 基金の充当に当たっては、国庫補助金など、別の財源を最大限活用したうえで、その可否を検討するものとする。
- 6 ランニングコストについては、特に、嶺南地域全体の新たな二次交通のモデルとなる事業等を対象に、原則 3 年を上限に実施することを可能とする。

[参考]

① 対象事業について

- ・負担割合は、ハード整備 県 2 : 市町 1

ソフト事業 県 1 : 市町 1 を原則。

- ・「小浜線の利便性向上」といった共通の事業目的の達成に向けて、実施内容が待合環境の整備やバリアフリー、二次交通対策など各市町の状況に応じて異なることはあり得る。

② 事業の実施体制について

- ・県、市町、嶺南広域行政組合による協議の場を設け、対象とする事業内容や実施時期等を決定する。

- ・原則として、基金の補助先を嶺南地域の広域的な団体に一本化。必要に応じて、そこから市町等に補助する。

2 基金活用額の目安について

広域的に効果が及ぶ事業 (A~C) に概ね 50 億円、主に事業を実施する市町内で効果がある事業 (D、E) に概ね 30 億円を活用することを目安とする。

※添付資料 基金活用候補事業リスト

嶺南快速鉄道基金 活用候補事業リスト

	敦賀開業（R2～6）	小浜開業（R7～）
A 小浜線の利便性向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行の充実 (増便、折返し施設の整備 など) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小浜線各駅の利用環境整備 (駅舎内における待合室の整備やバリアフリー化、トイレ整備、多言語化などの利便性向上) 	
B 広域交通の整備、充実		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光列車の導入に向けた試行と観光列車の整備 (くろまつ号の小浜線乗入れ、南北列車の運行 など) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町を跨ぐ広域バス等の導入 (三方五湖エリア二次交通の実証運行 など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町を跨ぐ広域バス等の導入 ・ 公共交通のキャッシュレス化(広域) など
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通のキャッシュレス化(広域) (共通システム など) 	
C 新幹線駅を起点にした広域交通結節点の整備、強化		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域交通ターミナルの整備 (新幹線敦賀駅の駅前広場 など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域交通ターミナルの整備 (新幹線小浜駅の駅前広場 など)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗継ぎ案内機能の強化 (新幹線敦賀駅での乗継ぎ情報を提供する設備 など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗継ぎ案内機能の強化 (新幹線小浜駅での乗継ぎ情報を提供する設備 など)
D 小浜線各駅を起点にした交通結節点の整備、強化		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ターミナルの整備 (小浜線各駅の駅前広場 など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ターミナルの整備 (小浜線各駅の駅前広場 など)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗継ぎ案内機能の強化 (小浜線各駅での乗継ぎ情報を提供する設備 など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗継ぎ案内機能の強化 (小浜線各駅での乗継ぎ情報を提供する設備 など)
E 小浜線各駅へと繋げる新たな公共交通手段の整備、充実		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ デマンド方式やシェア方式など新たな移動手段の導入 ・ レンタサイクルの整備 ・ 公共交通のキャッシュレス化(機器、個別システム など) ・ MaaS導入、乗換マップ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新技術の開発を踏まえた新たな移動手段やキャッシュレス化の導入 など